

令和3年度 福島小学校 学校関係者評価

番号	評価項目	よくできている			できている			あまりできていない			できていない			自己評価	考察(現在の状況における成果◎と課題●)	評価者からのコメント (成果◎、課題●)	判定
		児童	保護者	教師	児童	保護者	教師	児童	保護者	教師	児童	保護者	教師				
① 確かな学力	1 「読み・書き・計算」力の向上をめざして習熟の時間の充実を図る。(授業・ぐんぐんタイム)	48%	22%	0%	41%	58%	55%	8%	18%	41%	1%	2%	3%	4~1	● 授業時間内の習熟の時間確保やぐんぐんの時間における学年プランの作成、運用など、具体的に「読み・書き・計算力」向上に向けて取り組んできた。また、主体的に学び合う授業スタイルへの改善、個に応じた指導の実践を随時行ってきた。学力調査の結果から、学力面について昨年度より平均点の伸びが見られたが、まだ底上げが必要な状況であり、評価を2とした。	◎基礎学力向上のために具体的な実践が行われ、着実に成果が現れていることは嬉しい限りである。子どもたちの将来を考えると、今後も主体的に学び合う授業を大切にしていきたい。 ◎児童が、よくできていると自己評価し、保護者ができていると評価している点で、まずは児童自身が学びの自信をつけることは(点数にも伸びが見られる)良いことである。 ●教師は児童ひとりひとりの確かな学力をめざし、冷静な視点でとらえているので、番号①の1であまりできていない31%と評価しているようである。底上げに力をいれていくことを期待している。 ◎昨年よりは、学力は上がってきているように感じる。参観授業とか見に行くと、どの学年もスムーズに授業が進んでいるように思う。先生方のがんばりの成果です。 ◎評価において保護者、先生方「できている」が半数以上の数字があり、昨年度よりも平均点が伸びた事に関しては、評価ができていますので、この調子で来年度も継続して行って欲しいです。	2.7
	2 学習指導要領の主旨を生かした授業実践に努め、児童が主体的に学ぶ授業スタイルを構築する。	36%	15%	8%	48%	62%	62%	13%	23%	31%	2%	1%	0%				
	3 児童個々の実態に応じた指導を工夫し、確かな学力の定着に努める。	57%	22%	4%	32%	62%	78%	7%	15%	19%	1%	1%	0%				
② 豊かな心	4 児童の生活を支える基本的な生活習慣や規則正しい生活リズムの定着を図る。	43%	28%	0%	41%	49%	54%	11%	20%	46%	3%	4%	0%	2	● 生活習慣および生活リズムについては、時間を守ること、早寝早起き、手洗いやうがいについて評価した。児童および保護者の評価と学校での職員の評価にズレが見られる。保護者と、学校の期待値に差異があるのではないだろうか。一方、当たり前3か条の中でも特に言葉遣い(呼び捨て、暴言)は要改善であり、その根幹となる人権感覚を高めていく必要がある。また、挨拶が元気が無かったり、挨拶をしているのに無視したりする児童がいる点も改善していく必要がある。これらについては、学校だけでなく、家庭、地域との連携を深めて取り組んでいきたい。よって、評価を2としている。	◎「道徳」の指導について、子供たちの評価が高いことは、心の教育が充実しているものと考えられる。 ●基本的な生活習慣の育成、当たり前のこと3か条の徹底は、望ましい人間関係の形成につながってくるので、家庭、地域と連携して取り組んでほしい。 ●新型コロナウイルス感染拡大防止のために、人数の多い福島小は、小さな学校よりも、ストレスが多かったし、気を使った面もあったことだろう。その様な中で豊かな心を高めることの難しさを感じた。教師は、そうした現場の中でその評価ではないだろうか。(番号4.5.6)大人であっても、生活リズムを整える事は簡単な事ではない。だからこそ、子ども時代の成長期を大切に過ごしてほしいと願っている。言葉で傷つけることは、人権においても、道徳的にも、よくはないし、物事もよい方向には進まないことを、学校、家庭、地域の中で取り組む事への協力をし、伸びていく様期待している。 ●考察に挙げられているように「生活習慣および生活リズム」については、児童・保護者・先生方の評価のズレが見られると思います。家庭では、「これくらいは大丈夫」との思いがあるのではないのでしょうか。学校だけでは改善できないので家庭(保護者)と連携を取り、共通認識できるように努めてもらいたいです。 ◎たくましく生きる力では、よくできている。できている。と前向きにとらえている点ですばらしい。運動は、心にも体にも良いので「体力向上プラン」と共に保健・給食指導に努めることで、さらに児童は伸びるだろう。	2.2
	5 「当たり前3箇条」等、身に付けるべき行動様式の徹底をめざす。	44%	15%	0%	42%	65%	28%	11%	20%	69%	2%	1%	3%				
	6 特別の教科「道徳」の指導方法を工夫するとともに、行事との関連を図り、日常生活に生きる道徳教育をめざす。	62%	30%	17%	31%	63%	52%	4%	7%	31%	1%	0%	0%				
③ たくましく生きる力	7 自他の命を大切に判断力と行動力を育て、規範意識の定着に努める。	46%	22%	7%	45%	66%	55%	7%	12%	38%	1%	0%	0%	2	◎● 前向きにチャレンジする児童が多い。また、運動が好きな児童も多く、体力向上にも前向きである。活躍や挑戦の機会や集会等での賞賛の場を積極的に設定していきたい。一方で登下校の仕方や帰った後の過ごし方、校内での廊下歩行等において、ルールを守ることの意味がなかなか伝わらず、迷惑をかけたり、けがや事故につながりかねない判断をしたりする児童がおり、何度も指導することがあった。どうしてルールがあるのか、守らなければならないのかということについて、集会や班長会などでの指導を粘り強く継続していく。命に係わる大切な指導事項なので、評価を2とした。	◎前向きにチャレンジする児童が多いということは、学校の指導や対策が効果的であるといえる。今後も、児童に向上心を育て、達成感を味わえる手立てを工夫してほしい。 ◎久しぶりに運動会を観覧させてもらったが、児童の皆さんのがんばり、先生方の指導の良さがとてもよく分かり、感動しました。運動会に関しては、問題ないのではと思います。 ●登下校について気になります。登校時は一列になって登校していますが、下校時は悪ふざけや横並び等が見られ、車の運転時には、かなり気がつかれます。命にかかわる事なので、再度徹底した指導及び、保護者への連絡をお願いします。	2.7
	8 失敗を恐れず困難に立ち向かう「挑戦する」場面を意図的に設定する。	53%	10%	12%	37%	60%	68%	7%	29%	20%	1%	0%	0%				
	9 「体力向上プラン」の活用を図るとともに、児童の実態に即した保健指導や給食指導に努める。	48%	25%	18%	35%	43%	64%	11%	30%	14%	5%	2%	4%				
家庭・地域との連携	10 学校だよりや学年・学級だより、HP等を活用し、「みんなで子どもを育てる」体制づくりを推進する	18%	45%	74%	48%	8%	3%	0%	3%	3	◎ PTAを始め、スクールガードや見守り隊等の地域のサポートを手厚く受けながら、子どもを見守り育てる環境づくりを積極的に推進している。また、学校としては、学校だよりや学級通信を適宜発信してきた。特に学校のホームページでは、日々の教育活動を興味をもてるような写真や記事で毎日更新することができ、アクセス数も一気に上がっている。よって評価は3とした。来年度は創立150周年記念事業が計画されており、スポットボランティアの協力をいただきながら学校地域一丸となって取り組んでいきたい。	●朝のあいさつ、こんにちは、さようならが言えない子が多いように思います。子供の両親だけでなく、周りの大人も教えていたら良いと感じます。 ◎学校だより、HP等で学校の情報を発信し、開かれた学校づくりが行われている。また、地域の方々と協力して、子供たちの見守り活動がなされ、安心安全な環境づくりが出来ている。 ◎HPの毎日更新など充実したHPIになり、閲覧数も増加した事は、大変良い事だと思います。大変ですが、今後も頑張ってください。 ◎学校が工夫努力していて、現状がHPを開けば、よく理解できる点が児童・保護者・教師と共に地域でも情報が共有されて良い。安心安全で児童が日々生活を送れるように情報を共有し取り組むことに今後も期待している。	2.7				
	11 学校が主体性を発揮し、地域一丸となって子どもを見守り育てる環境づくりを積極的に推進する。	20%	18%	73%	68%	7%	11%	0%	4%								